

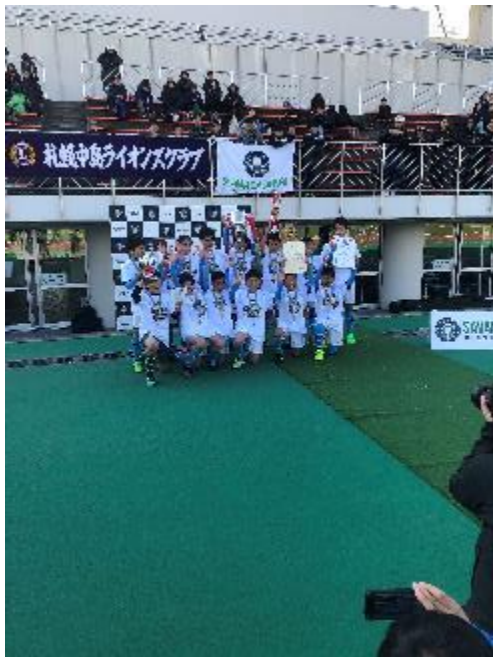


きずな

第51回会長杯

兼札幌中島 LC Supportship

第6回 Savannacup Sapporo



JSNサッカークラブ

優勝おめでとう！！

札幌少年団連盟主催グラウンドサッカーの締めくくりは、厚別公園競技場で行われた会長杯の決勝戦。10月の三連休の最終日10月14日に行われました。選手たちの熱い熱い11人制サッカーが繰り広げられました。優勝はJSNサッカークラブ。以下に準決勝、決勝の様子をレポートします。

決勝戦		
10月14日(月祝)厚別公園競技場		
JSN	AGGRE	
2	1-0 1-0	0

準決勝から気温が上がり続け、心地よい風も吹き晴天に恵まれた中での決勝戦、両チーム円陣を組み大きな掛け声の応戦、お互いの闘志が伝わってくる中、JSNのキックオフでスタート。開始早々JSNがAGGRE陣内に攻め入る。前半開始早々左サイドCKを勝ち取るもDFにクリアされる。同5分、JSN3番を中心に攻撃を組み立てる。JSNはここまで球際の強さが目立っていて中盤から徐々に押し込む展開になっている。

一方のAGGREも前半10分、12番OUT6番IN14番OUT18番IN、選手交代で反撃を試みる。すると15分、左サイドに流れたボールをAGGRE9番が突破しシュートを放つ。惜しくもゴール右に外れてしまうも少しずつ反撃を始める。

お互い中盤での激しいボールの奪い合いが続くもボールのキープ率はややJSNが有利な展開。一方のAGGREも奪い返すが中々シュートまで行くことが出来ず試合は拮抗した状態が続く。すると前半終了間際、JSN8番から中央やや左サイドからDFの裏に飛び出した11番にスルーパスが通り11番が左足でシュート。これがゴール右に決まりJSNが待望の先制点を挙げた所で前半終了した。

共に一歩も引かない前半戦だったがJSNがDFラインからしっかり中盤へつなぎ相手DFの裏で勝負しようという狙いが見えていた。一歩のAGGREもロングボールを使いJSNDF陣の裏を狙っていたが後一歩のところまで阻まれていた印象だった。

気温も上がり暖かさを感じる中、最後の 20 分を AGGRE のキックオフでスタート。前半と変わらず激しい攻防で幕を開ける。後半 4 分、AGGRE が中央付近で FK を得る。惜しくも GK にキャッチされるも少しずつペースを引き寄せせる。すると今度はペナルティーエリア外中央付近で再び AGGRE が FK を得るが惜しくもバーの上を超えてしまう。

一方、JSN が今度は反撃に出る。後半 12 分、JSN 11 番が DF の裏に抜けたボールで切れ込むとゴール前で 10 番にパスを送るが GK に抑えられる。お互い譲らない展開の中 16 分、JSN DF のクリアボールが相手 DF の裏に抜けた所へ 10 番が飛び出し最後は GK も交わしゴールに押し込んだ。

最後までお互い攻撃の手を緩めずせめぎあったが、確実にシュートまで結び付けた JSN が 2 年ぶり 2 度目の優勝を果たした。



準決勝第 1 試合		
10月14日(月祝)厚別公園競技場		
JSN	FC DENOVA	
1	1-0 0-0	0



晴れてはいるものの少し肌寒い中行われた第一試合は JSN のキックオフでスタート。開始直後から JSN が積極的に DENOVA 陣内に攻め込むが先にシュートに結びつけたのは DENOVA。開始 4 分、DENOVA 13 番が相手のミスからボールを奪いシュート。惜しくもゴール左に外れる。直後 5 分今度は JSN、右サイドからのセンタリングを 5 番が頭で合わせるもゴールの枠をとらえることはできず。前半 10 分を過ぎたところでお互いシュートは 1 本ずつ中盤では両者拮抗したボールの奪い合いが続く。11 分には、JSN 右サイドから折り返したボールを 7 番がシュートを放つもゴール左に外れる。一方の DENOVA も 15 分に CK を得るもラインを割ってしまう。しかし前半 18 分、ゲームが動く。JSN 5 番が中央の混戦から抜け出し、ゴールに押し込み待望の先取点を挙げる。両チーム共ボールを運ぶも中々シュートまでたどり着けない中、JSN が少ないチャンスを生かした形で前半を終える。

後半に入り、前半同様中盤での激しいボールの奪い合いが続く。後半 6 分、JSN FK から 9 番のヘディングシュートはゴール右に外れる。一方の DENOVA も徐々に JSN 陣地に押し込もうとするが JSN DF 陣も懸命にこらえる。JSN も積極的に攻撃を仕掛ける。15 分、左サイドから 11 番が切れ込み 10 番に折り返しシュートを放つも GK に抑えられる。17 分、DENOVA は 16 番 OUT 12 番 IN メンバー交代。最後は全員攻撃で勝負に出るが

一歩及ばず、J S Nが2年ぶり決勝の切符を掴んだ。
 お互い甲乙つけがたい素晴らしい勝負の中でわずかな決定力の差が勝負の明暗を分けた。



準決勝第2試合		
10月14日(月祝)厚別公園競技場		
AGGRE		上江別Jr
2	0-0 2-1	1

時折強い風が吹くものの徐々に気温が上がってきた準決勝第2試合。AGGREのキックオフでスタート。開始早々、両チーム共に積極的に攻撃を仕掛ける。前半1分、AGGRE右コーナーキックを得るもDFにクリアされる。同1分、上江別5番が左サイドから突破してシュートを打つもGKに抑えられる。ここから上江別の攻撃が止まらない。4分と5分にシュートを打つもゴールをとらえることが出来ない。6分には8番から6番につなぎ右からクロスを上げるもゴールを外れてしまう。一方のAGGREも前半半分カウンターから攻めるがシュートまで行けない。早いパス回しと選手それぞれが早い出足でここまではやや上江別ペースで試合は進む中、AGGREもチャンスを作る。19分の左CKは、ゴール前でもつれるもゴール右に外れてしまう。お互い積極的に攻めるがゴールを割ることが出来ず前半が終了する。

後半開始後も上江別が攻撃でAGGRE陣内を攻め立てる。開始早々、13番から5番にパスを送りシュート。これはGKにはじかれる。同2分、今度は上江別9番が右サイドから突破しシュートDFにクリアされる。その後、6分、上江別5番がドリブ

ルで突破しGKまで交わしたが、シュートまでもっていきことが出来なかった。ここからAGGREも徐々に反撃に出る。6分、12番OUT14番IN。同6分、AGGRE相手のミスから9番がボールを奪いセンタリング。それが18番にわたるもGKに抑えられる。後半10分を過ぎてからAGGREが自分たちのペースを取り戻す。10分、左CKから9番のセンタリングを6番がダイレクトシュートこれは惜しくもGK正面。そして迎えた12分、右サイドから流れてきたボールをAGGRE18番がゴール左隅に押し込み待望の先制点を挙げる。

しかし、上江別もこれでは終わらない。14分、5番のスピードを生かしたドリブルシュート。GKがはじいたところを押し込みすぐさま同点とする。お互い特徴を生かした攻撃を展開する中、試合終了間際の19分に劇的な幕切れが訪れる。上江別ゴール前の混戦をAGGRE9番、5番、7番とつなぎゴール！これが貴重な勝ち越しのゴールとなる。

最後の最後で昨年の覇者である意地を見せたAGGREが2年連続決勝の切符を掴み取った。



